東北駆け込み寺

いろは横丁だより

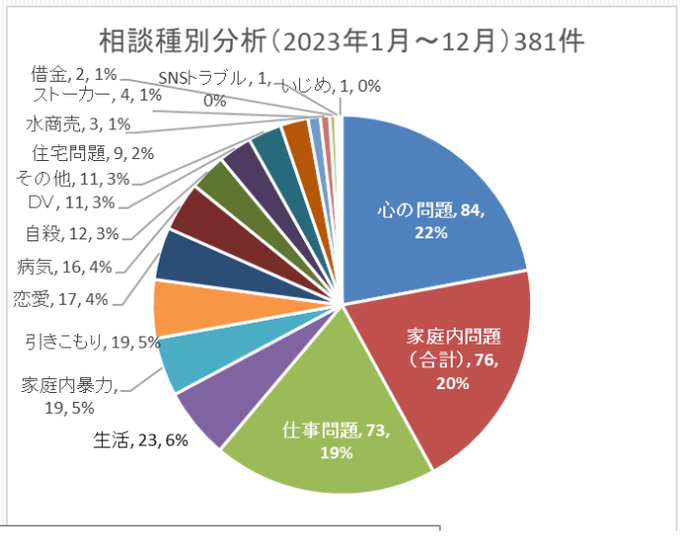
2024.01.01

40号

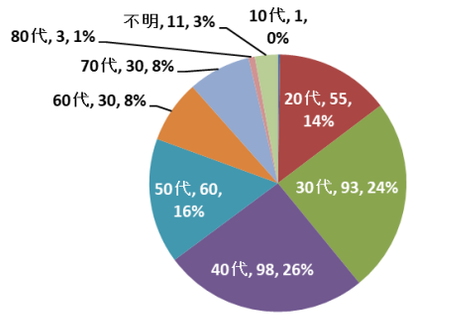
新年明けまし提ておめでとうございます。

2023年相談分析

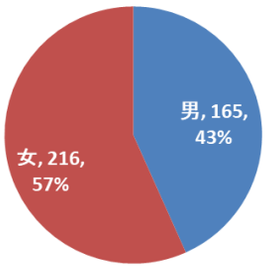
昨年は延べ1,286人のボランティアが381件の相談を受けました。



年代別分析（2023年1月～12月）381件



男女別分析（2023年1月～12月）381件



2023年12月の相談状況

【相談内容別】

・ＤＶ	0件
・家族の問題	0件
・ストーカー	0件
・自殺の問題	0件
・心の問題	5件
・仕事の問題	8件
・生活の問題	1件
・病気の問題	1件
・住宅の問題	2件
・ひきこもり	5件
・恋愛の問題	0件
・お金の問題	0件
・水商売問題	1件
合計	23件

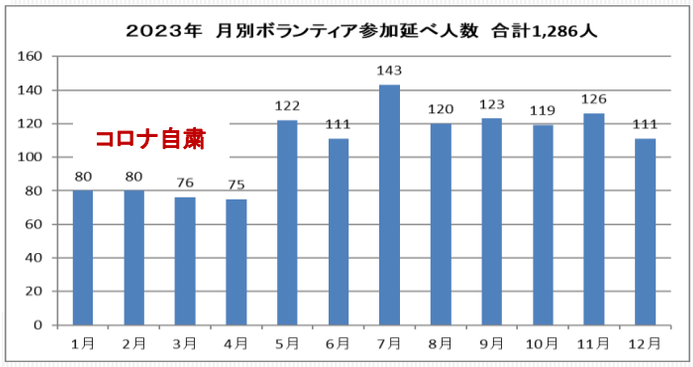
【年代別】

・10代	0件
・20代	1件
・30代	9件
・40代	7件
・50代	4件
・60代	1件
・70以上	1件
・不明	0件
合計	23件

【男女別】

・男性	18件
・女性	5件
合計	23件

【ボランティア延べ人数　111人】



相談事例　No.1　『女性　50代　引きこもりの息子』

今年から相談事例を掲載致します。

引きこもりの息子さんを持つお母さんからの相談。ある書類に息子さんの職業を書かなければいけなかったが相談者さんは「無職」と書きたくなかった。息子さんは身体が弱く、相談者さんは献身的にサポートをしていた。今の一番の悩みは、息子さんに対してどう接していけば良いか分からないということだった。

この相談は私、相談員竹田にとって第一回目の相談対応だった。私も一年半引きこもりを経験していたため相談者さんの話は共感しながら聴いていた。私は相談者さんに伝えた。「私も引きこもった経験があります。でも、私の母が生き生きとしている姿を見て救われました。お母さんが元気だと息子も元気になるものです。お母さんには元気でいてほしいです。体を大事にしてほしいです」と伝えた。相談者さんは「よく立ち直りましたね。あなたのことを応援する。ありがとう」と泣きながら讃嘆してくれた。私の母は仕事場で起こった面白い話を毎日してくれ、そのおかげで私は心が動かされ頑張ろうと思えるようになった。だから、相談者さんに助言した。「親子のコミュニケーションを大切にしてほしい」、そして、「お母さん自身が生き生きと取り組めるものを見つけてほしい」と助言した。相談者さんは「前から興味があった英語の勉強をやってみようと思う」と素直に返してくれた。無事、私の第一回目の相談が終わった。

後日、私の母から聞いた話で、私が部屋にこもっていた頃、母は日本駆け込み寺代表の“玄さん”に相談していたようで、「息子さんのことは今は放っておいて自分の好きなことをとことんやりなさい。そうすれば息子さんも良くなるよ」と助言されたそうだ。奇しくも玄さんの言葉には私が相談者さんに助言した言葉と重なるものがあった。相談で気づき得たことは、生き生きと生きていく姿を人に示していくことの素晴らしさと母への感謝だった。

一般社団法人東北駆け込み寺
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3-28
022－200－6002